

# 5 DVD 飼養期間中の管理（ケア）

譲渡までの期間中、どのように扱われるかで、子猫は穏やかにも怖がりにもなります。譲渡の可能性が高い「健康で穏やかな、情緒の安定した子猫」になるような飼養管理を目指しましょう。また、体調管理のために、清潔で快適な環境の提供も重要です。

## 扱い方

医療や清掃のために、子猫をケージから移動させる際の抱き方や、扱い方には十分注意しましょう。乱暴な扱いをされると、子猫は人間を怖がるようになります。ケージに近づくとときや扉を開けるときのなどは、やさしく声をかけ、驚かさないようにしましょう。

【通常の抱き方①】胸とおしりをおさえ、しっかり抱きましょう。※1

【子猫が非常に活発な時や暴れている時の抱き方②】首筋を持つときも、必ずおしりをキープしましょう。※2



※1 抱き方①

※2 抱き方②

## 衛生管理

感染症などを防ぐため、清掃、消毒に注意を払いましょう。特に以下の点に気をつけてください。

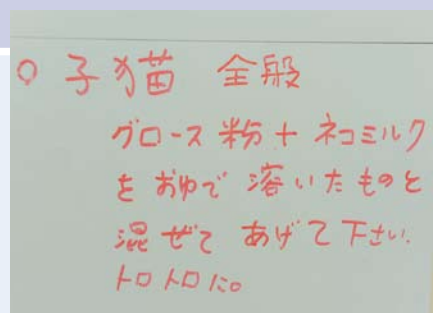
【清掃】ケージの中を洗い流した後は、必ず水気を拭き取り、乾燥させてください。ケージ内が濡れていると体温を下げることにつながり、健康を害する恐れがあります。

【消毒】人と動物の双方に影響がないものを使用しましょう。また、どの薬剤をどの程度使用するかなど、スタッフ全員にわかりやすく表示（スポイトに印をつける、消毒用バケツにラインを引くなど）して、情報共有しておきましょう。



## 給餌

子猫の成長の度合いによっては、粒状のドライフードをうまく食べられないこともあります。缶詰や、猫用のミルクなどに変えることができないときには、ドライフードをお湯でふやかして与えるなどの工夫をしましょう。どの猫に、どの餌をどの程度与えるかも、スタッフにわかりやすいように表示（特に注意を要する場合はホワイトボードに書きつけるなど）しましょう。



粒状のドライフードをうまく食べられない猫には、あらかじめドライフードをミキサーで粉碎し粉状にして密閉容器などに保管（冷蔵庫）し、給餌の際にお湯で溶いて与えています。粒のままのドライフードをふやかすには結構時間がかかるものですが、この方法なら効率的です。

東京都動物愛護相談センター多摩支所  
「食餌の工夫」

事例10

## ケージの環境

### トイレ

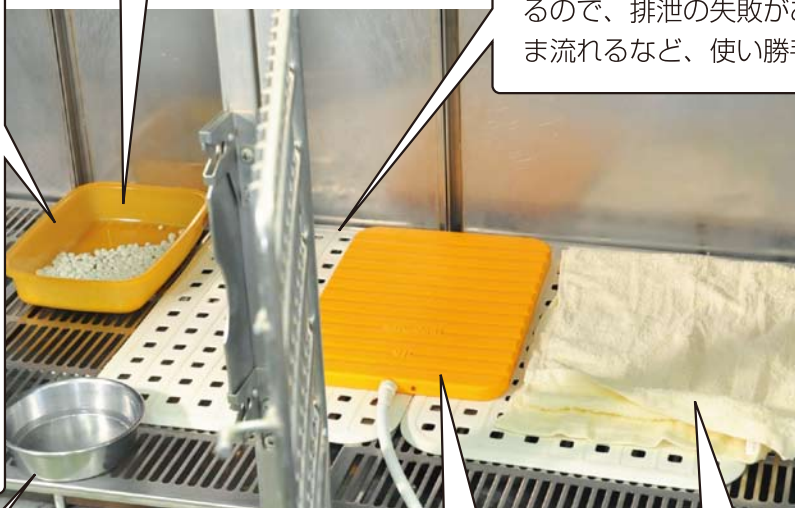
譲渡先でもっとも問題になりやすいのは、「トイレができない子猫」です。施設にいる間からトイレボックスをケージに入れておけば、多くの場合、みずから覚えますので、必ず入れておきましょう。トイレ用の砂を用意できなければ、新聞紙を引き裂いたものでも代用できます。またトイレボックスも安価な台所用水切りかごで代用できます。かごの下にペットシートを敷いておけば清掃の手間が省けます。



自作のトイレ

### ゴムマット

ステンレスのスノコの上に敷いておけばより快適です。ここで使っているゴムマットは安価なものです。ゴムなので消毒が簡単であること、また、小さな穴があいているので、排泄の失敗があっても下にそのまま流れるなど、使い勝手が良いものです。



### 水

水用の食器は、毎日消毒しましょう。

### ペットヒーター

子猫にとって、体温の低下は命の危険にもつながります。子猫の部屋自体に暖房を入れる余裕がないような場合などは、ペット用のヒーターを入れてあげるとよいでしょう。温度調節のため、ヒーターの上にはタオルなどをかけましょう。

### タオル

子猫の寝床としてタオルをいれましょう。保温と安心感も与えます。使用するタオルは清潔を心がけ、毎日消毒・洗濯を。感染症予防のため、子猫の移動がある場合は必ず取り換えましょう。

### 爪とぎ

爪とぎは猫の自然な習性ですが、譲渡後の家庭で、家具や建具に爪とぎをされると問題になります。専用の「爪とぎ」をケージの中に入れておけば、ここで爪をとぐことを覚えるので、別の場所での爪とぎの予防に有効です。ペットショップなどで市販の爪とぎを購入してもいいですが、予算の問題や、感染症予防のために使い回しを避けたいという場合には、段ボールで手作りすることもできます。



### 手作りの爪とぎ

段ボールをカットして、張り合わせます。段ボールの断面が子猫にちょうどいい爪とぎになります。



### 段差

猫はその習性から、上下運動が必要な動物です。2段ケージや3段ケージで管理できれば欲求を満たしてやることができますが、それが無理な場合は、通常のステンレスケージの扉部分に、キッチンラックをかけてやるだけで、段差ができ、子猫はその上に登ったり降りたりして、たのしく運動ができます。キッチンラックは安価に購入でき、消毒も簡単です。

